

企業・団体



大津市

事業

アーバンデータチャレンジ 2016 『お祭り Hack in 大津』の開催

事業区分 「行政・住民サービス」

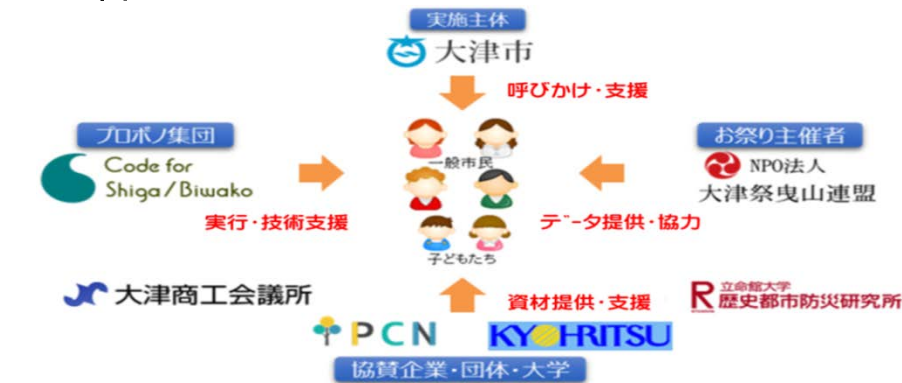
実施時期 平成 28 年 7 月、8 月

概要

オープンデータの推進に向けた取組みを進める中で、市が保有する様々な行政データを二次利用可能な形式で広く公開するための環境を整備するとともに、公開データの利活用の促進を図ることを目的に、オープンデータ活用推進イベントとして昨年度に引き続き「アイデアソン」「ハッカソン」を開催。

- ① 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）が主催するアーバンデータチャレンジ 2016 に滋賀地域拠点ブロック代表として大津市が開催。
- ② アーバンデータチャレンジ 2015 に引き続き「大津祭」をテーマに「アイデアソン」、「ハッカソン」を開催。昨年度のコンテストでアプリ部門銀賞を受賞したアプリ（大津祭曳山ストーリーテラー）のバージョンアップも検討された。
- ③ 子ども向けに、大津祭の曳山をイメージした「ミニ曳山」を製作し、搭載した子どもパソコンに動きをプログラムして「ミニ曳山」を走らせる体験イベントを同時開催した。

イメージ図



お祭り Hack in 大津～宵宮～



アイデアソン

お祭り Hack in 大津～本祭～



ハッカソン

子ども向けイベント



電子工作とプログラミング体

平成27年度にリリースされた『大津祭曳山ストーリーテラー』が平成28年度にバージョンアップ。

ビーコンを搭載した曳山が近づくと、アプリが検知し、その曳山の説明を見ることが出来る。平成28年度のアイデアソン、ハッカソンを経て、曳山巡行の先頭位置をお知らせ機能(GPSを利用)やアプリの英語対応機能等が追加された。

効果・成果

「地域住民などが要望するデータの種類や形式」の把握につながった。また、様々な立場にある参加者が協力してアイデアを出し合い、それをかたちにしたことや、子ども向けのイベントを開催したことは地域の活性化に繋がった。

平成 27 年度のイベントで開発され、平成 28 年度のイベントを経て機能が追加されたアプリは大津祭当日に多くの来場者に利用してもらうことができ、伝統に縛られない革新的取り組みとして、大津祭の活性化への一助となった。

担当部署

大津市政策調整部情報システム課（滋賀県大津市御陵町 3-1）

担当者：情報管理係 柳井 美紀 Tel：077-528-2713 e-mail：otsu1218@city.otsu.lg.jp

URL：http://www.city.otsu.lg.jp/